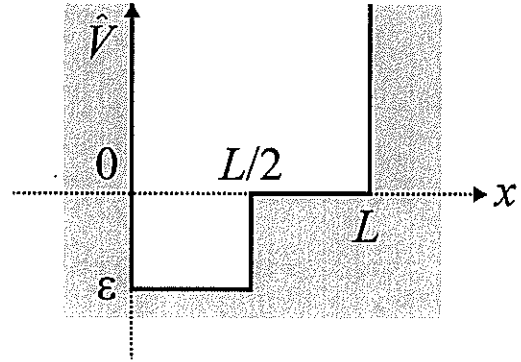


[化学物理Ⅱ (専門)] (全2題)

[問題1] 以下の文章を読み, 問A~Eに答えよ.

右図のような一次元 (one dimension) の箱型ポテンシャル (box potential) で表されるナノ構造体に閉じ込められた電子を考える. このとき, 電子の Hamiltonian, \hat{H} は, 電子の座標 (coordinate) を x とすると, 次式で表されるとする.



$$\hat{H} = \hat{T} + \hat{V} \quad (1)$$

$$\hat{T} = -\frac{\hbar^2}{2m_e} \frac{d^2}{dx^2} \quad (2)$$

$$\hat{V} = \begin{cases} \varepsilon & (0 \leq x < L/2) \\ 0 & (L/2 \leq x \leq L) \\ \infty & (x < 0, x > L) \end{cases} \quad (3)$$

ここで, \hat{T} は運動エネルギー (kinetic energy) 演算子, $\hbar = h/(2\pi)$ で h はプランク (Planck) 定数, m_e は電子の質量 (mass) である. \hat{V} はポテンシャルエネルギー (potential energy) 演算子で, L は箱の長さ (length) を表す. また, ポテンシャル左半分のエネルギーは可変で, そのときのエネルギーを ε とする.

$\varepsilon = 0$ のとき, 波動関数 (wavefunction) $\psi_n(x)$ 及びエネルギー E_n は n を 1 以上の整数 (integer) として以下のように表せる.

$$\psi_n(x) = \sqrt{\frac{2}{L}} \sin\left(\frac{\pi n}{L} x\right) \quad (4)$$

$$E_n = \frac{n^2 \hbar^2}{8m_e L^2} \quad (5)$$

問 A $\varepsilon \neq 0$ のときの最低エネルギー状態 (the lowest energy state) を, $\varepsilon = 0$ のときの $n=1$ 及び $n=2$ の波動関数を用いて, 変分法 (variational method) で求めることを考える. 試行関数 (trial function) $\Psi(x)$ を, 変分パラメータ (variational parameters) c_1 及び c_2 を用いて以下のように表す.

$$\Psi(x) = c_1\psi_1(x) + c_2\psi_2(x) \quad (6)$$

試行関数によるエネルギーの期待値 (expectation value) E を c_1 , c_2 及び積分 (integrals) H_{11} , H_{22} , H_{12} 及び H_{21} を用いて表せ. ここで, それぞれの積分は

$$H_{ij} = \int_0^L dx \psi_i(x) \hat{H} \psi_j(x) \quad (7)$$

のように定義される. 波動関数及びハミルトニアンが実数 (real value) なので, 変分パラメータ c_1 及び c_2 も実数としてよい.

問 B エネルギーの期待値 E を変分パラメータに関して変分することにより, 最適な (optimal) エネルギーと波動関数が求まる. このとき, 問題は次式の連立一次方程式 (simultaneous linear equations) を解くことに帰着される.

$$\begin{pmatrix} A_{11} & A_{12} \\ A_{21} & A_{22} \end{pmatrix} \begin{pmatrix} c_1 \\ c_2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 0 \\ 0 \end{pmatrix} \quad (8)$$

ここで, 行列要素は以下の式で与えられる.

$$A_{11} = H_{11} - E \quad (9)$$

$$A_{12} = H_{12} \quad (10)$$

$$A_{21} = H_{21} \quad (11)$$

$$A_{22} = H_{22} - E \quad (12)$$

上式 (9)~(12) の A_{11} , A_{12} , A_{21} 及び A_{22} を E_1 (式 (5) における $n=1$ のエネルギー), ε 及び E のいずれかを用いて表せ.

問 C $\varepsilon = -\frac{\pi\sqrt{63}}{8}E_1$ のとき, 最適化された最低エネルギー状態のエネルギーを,

E_1 を用いて表せ. ここで $E' = E - (H_{11} - E_1)$ とおくと解きやすい.

問 D 上問 C で求めた最適化された最低エネルギー状態の c_1 及び c_2 を求め

よ. このとき, 波動関数は規格化 (normalized) されているとする. すな

わち $c_1^2 + c_2^2 = 1$.

問 E $\varepsilon \neq 0$ のときは電子分布 (electron distribution) の偏りが生じる. 上問 C 及

び D で求めた最適化された最低エネルギー状態を占める一電子に対して,

$0 \leq x < L/2$ 及び $L/2 \leq x \leq L$ の領域 (regions) に見出される確率

(probability of finding the electron) をそれぞれ求め, その結果に基づき, ど

ちらの領域に電子がより多く分布するかを答えよ.

[問題2] 以下の文章を読み, 問A~Fに答えよ.

固有状態(eigen state)が列ベクトル(column vector) $|0\rangle = \begin{bmatrix} 0 \\ 1 \end{bmatrix}$, $|1\rangle = \begin{bmatrix} 1 \\ 0 \end{bmatrix}$ で表される二準位系(two-level system)を考える. それに共役(conjugate)な行ベクトル(row vector)は $\langle 0| = [0 \ 1]$, $\langle 1| = [1 \ 0]$ である. Hamiltonianはこの状態に対し $\hat{H} = \hat{H}_0 + \hat{V}$ で定義されているとしよう. ここで

$$\hat{H}_0 = \begin{bmatrix} \varepsilon & 0 \\ 0 & -\varepsilon \end{bmatrix}, \quad \hat{V} = \begin{bmatrix} 0 & \mu \\ \mu & 0 \end{bmatrix} \quad (1)$$

と定義されており ε はエネルギー, μ は相互作用の強さを表す定数である. 以下で温度(temperature)を T , Boltzmann定数を k_B とすると, $\beta = 1/k_B T$ であり, 熱平衡状態(thermal equilibrium state)での密度演算子行列(density operator matrix)は $\hat{\rho}^{eq} = e^{-\beta \hat{H}}$ で与えられる. ここで任意の演算子行列 \hat{A} に対して $e^{\hat{A}} \equiv \hat{I} + \sum_{n=1}^{\infty} \hat{A}^n / n!$ であり(\hat{I} は単位演算子行列), $\hat{\rho}^{eq}$ の規格化は行わない.

$\hat{\rho}^{eq}$ を β の関数みなすと $\hat{\rho}^{eq}(\beta)$ はシュレディンガー方程式(Schrödinger equation)と同形の微分方程式(differential equation)

$$\frac{\partial \hat{\rho}^{eq}(\beta)}{\partial \beta} = -\hat{H} \hat{\rho}^{eq}(\beta) \quad (2)$$

を満たし, \hat{V} が小さいなら波動関数と同様の摂動展開で $\hat{\rho}^{eq}(\beta)$ を評価できる.

問A まず無摂動(nonperturbative)状態での密度演算子行列 $\hat{\rho}_0^{eq} \equiv e^{-\beta \hat{H}_0}$ を考えよ

う. $\hat{\rho}_0^{eq}$ は行列表示で

$$\hat{\rho}_0^{eq} = \begin{bmatrix} \rho_{00} & 0 \\ 0 & \rho_{11} \end{bmatrix} \quad (3)$$

と書かれる. ρ_{00} , ρ_{11} を求めよ.

問 B 無摂動状態での分配関数(partition function) $Z_0 = \text{tr}\{e^{-\beta\hat{H}_0}\} = \rho_{00} + \rho_{11}$ を求め、そのヘルムホルツ自由エネルギー(Helmholtz free energy) F , エントロピー(entropy) S , 内部エネルギー(internal energy) U を分配関数 Z_0 より計算せよ。

問 C 摂動(perturbation)を含んだ場合、密度演算子行列は

$$\frac{\partial \hat{\rho}^{eq}(\beta)}{\partial \beta} = -(\hat{H}_0 + \hat{V})\hat{\rho}^{eq}(\beta) \quad (4)$$

を満たす。 $\hat{V}_1(\beta) \equiv e^{\beta\hat{H}_0}\hat{V}e^{-\beta\hat{H}_0}$, $\hat{\rho}_1^{eq}(\beta) \equiv e^{\beta\hat{H}_0}\hat{\rho}^{eq}(\beta)$ とおくと(4)式が

$$\frac{\partial \hat{\rho}_1^{eq}(\beta)}{\partial \beta} = -\hat{V}_1(\beta)\hat{\rho}_1^{eq}(\beta) \quad (5)$$

となることを示せ。

問 D $\beta=0$ での初期値を $\hat{\rho}_1^{eq}(0)$ として(5)式を形式的に積分(integrate)すると

$$\hat{\rho}_1^{eq}(\beta) = \hat{\rho}_1^{eq}(0) - \int_0^\beta d\beta_1 \hat{V}_1(\beta_1) \boxed{a}$$

となる。左辺を右辺 \boxed{a} に代入すると

$$\hat{\rho}_1^{eq}(\beta) = \hat{\rho}_1^{eq}(0) - \int_0^\beta d\beta_1 \hat{V}_1(\beta_1)\hat{\rho}_1^{eq}(0) + \int_0^\beta d\beta_1 \int_0^{\beta_1} d\beta_2 \hat{V}_1(\beta_1)\hat{V}_1(\beta_2) \boxed{b}$$

この操作をさらに繰り返すと

$$\begin{aligned} \hat{\rho}_1^{eq}(\beta) = & \hat{\rho}_1^{eq}(0) - \int_0^\beta d\beta_1 \hat{V}_1(\beta_1)\hat{\rho}_1^{eq}(0) + \int_0^\beta d\beta_1 \int_0^{\beta_1} d\beta_2 \hat{V}_1(\beta_1)\hat{V}_1(\beta_2) \boxed{c} \\ & - \int_0^\beta d\beta_1 \int_0^{\beta_1} d\beta_2 \int_0^{\beta_2} d\beta_3 \hat{V}_1(\beta_1)\hat{V}_1(\beta_2)\hat{V}_1(\beta_3) \boxed{d} \end{aligned}$$

この操作を続けると解は \hat{V} の級数として表せる。

ここで、 $\hat{\rho}_1^{eq}(0) = \boxed{e}$ であることを考慮し、上式をもとの表示に戻すと

$$\hat{\rho}^{eq} = \boxed{f} - \int_0^\beta d\beta_1 e^{-(\beta-\beta_1)\hat{H}_0} \hat{V} e^{-\beta_1\hat{H}_0} + \int_0^\beta d\beta_1 \int_0^{\beta_1} d\beta_2 e^{-(\beta-\beta_1)\hat{H}_0} \hat{V} \boxed{g} \hat{V} e^{-\beta_2\hat{H}_0} + \dots$$

となる。 $\boxed{a} \sim \boxed{g}$ に適切な式を入れよ。

問 E 問 D の 1 次の摂動項は変数変換により

$$\hat{\rho}_1^{eq} = -\int_0^\beta d\lambda e^{-\lambda\hat{H}_0} \hat{V} e^{-(\beta-\lambda)\hat{H}_0}$$

の形に書かれることを示し、この項を(1)の行列に対して評価せよ。

問 F 熱平衡状態で演算子 \hat{A} に対する期待値は

$$\langle \hat{A} \rangle = \frac{\text{tr} \{ \hat{A} e^{-\beta\hat{H}} \}}{\text{tr} \{ e^{-\beta\hat{H}} \}} = \frac{\text{tr} \{ \hat{A} \hat{\rho}^{eq} \}}{\text{tr} \{ \hat{\rho}^{eq} \}}$$

で定義される。 $\hat{A} = \begin{bmatrix} 0 & \alpha \\ \alpha & 0 \end{bmatrix}$ として、問 E の結果を用いて $\langle \hat{A} \rangle$ を \hat{V} の 1 次摂動の項まで評価して計算せよ。